

## けんしゅうかい かくじぎょうしょ とく く ほうこく 研修会で各事業所の取り組み報告をしました

### だい ～第1・2・3キッズ それぞれの1年間～ ねんかん



#### 1月22日 保護者をお招きして、おもてなし会を開催



おでむかえ



お茶を出す



コースターを並べる



お菓子を配る



<商品の値札づくり>

<お店に納品>

本町堂に行き値札をつくり、陳列しました。

#### 交通ルール①

安全教室（10月）  
川津交番の方に来ていただき  
説明を頂く

信号・横断歩道・交差点への理解  
信号のない横断歩道・交差点、  
道路の歩き方の理解を深める

公園で遊んでいる時、飛び出し  
注意・公園外に出るときの  
注意事項が理解できる



#### だい ～第1キッズ～

#### だい ～第2キッズ～

#### だい ～第3キッズ～

だい だい だい ごとう しょくいんけんしゅうかい じっし こんかい けんしゅう ねんかんかくじぎょうしょ  
第1・第2・第3キッズ合同の職員研修会を実施しました。今回の研修では、1年間各事業所  
とく く ほうこく せい か はっぴょう はっぴょう  
で取り組んできたことの報告と、それによる成果をそれぞれ発表しました。

かくじぎょうしょ くふう こ とく はっぴょう あ たが しげき う しえん かん じょうほう きょうゆう  
各事業所の工夫を凝らした取り組みを発表し合い、互いに刺激を受け支援に関する情報を共有する  
ば  
場となり、とても有意義な機会となりました。

けんしゅうかい はつあんしや なんばとしかすし かくじぎょうしょ とく ひょうか  
また、この研修会の発案者であるアドバイザーの難波寿和氏からは、各事業所の取り組みの評価と、  
こんご かだい けいぞくせい しかくしえん じゅうようせい ぐたいてき あ  
今後の課題としてプログラムの継続性や視覚支援ツールの重要性など具体的に挙げていただき、さらなる  
しえん こうじょう じゅうじつ けんしゅうかい  
支援の向上につながる充実した研修会になりました。

だい 第1キッズ



てんきのいい日は公園に  
で遊びました。



子どもたちに人気の「<sup>にんぎ</sup>アイティー」活動。  
とても集中して行っています。



フラフープくぐりで身体を  
めいっぱい使っています。



サンレイクに陶芸の絵付け  
体験に行きました。みんな片付  
けまでしっかりと出来ました。

だい 第2キッズ



自分で分量を計り、カップ  
ケーキを作りました。



ブレインジムのかげやまトレー  
ナーに指導していただきました。



ゆうあい作品展を  
見に行きました。



室内で野球遊びを楽しんでい  
る場面。段々と本格的になっ  
てきています。

だい 第3キッズ



みんなで相談して、まちがい  
さが探しをしています。



何のものまねをしているか、  
みんなで考えました。



地域ボランティアの様子。協力  
してゴミを拾っています。



토요일に出雲の足湯に行き、  
みんなで温まりました。

## けんしゅうほうこく 研修報告

### きょうどうこうどうしょうがいしゃけんしゅうほうこく…だい ◎強度行動障害者研修報告…第3キッズ ○○○○

がっ がつ きょうどうこうどうしょうがいしゃけんしゅう さんか けんしゅうないよう こうどうしょうがい たい  
9月と12月に強度行動障害者研修に参加させていただきました。研修内容は、行動障害に対する  
りかい しえん て まな きょうどうこうどうしょうがい かた とくちょう じゅうど さいじゅうど  
理解と、支援の手がかりを学ぶというものでした。強度行動障害の方の特徴としては、重度・最重度の  
ちてきしょう じへいしょう かた おお じしょう たがい きけん ともな こうどう お あ  
知的障がいのある自閉症の方が多く、自傷・他害などの危険を伴う行動を起こす、ということが挙げられます。  
ことば ひょうしゅつ にながて しえんしゃがわ りかい あんしん す かんきょう ととの  
言葉での表出やコミュニケーションの苦手さを、支援者側が理解し安心して過ごせる環境を整えてあげる  
こと たいせつ こ あ しえんほうほう み わ てき たいけん ふ  
事が大切だそうです。また、その子に合った支援方法を見つけ「分かる」と「出来る」の体験を増やしてあげる  
たいせつ  
ことも大切とのことでした。

こんかい けんしゅう ことば りかい てき ひと ぎじたいけん きちよう たいけん あいて  
今回の研修では、言葉の理解が出来ない人の擬似体験もしましたが、とても貴重な体験をし、相手への  
つた かた りかい かんが こと たくさん こんかい けんしゅう え こと こんご  
伝え方・理解をしてもらうためには…と考えさせられる事が沢山ありました。今回の研修で得た事を、今後  
しえん い おも  
の支援に活かしていきたいと思います。

### じへいしょう ◎自閉症スペクトラムへの支援について～余暇～…第1キッズ ○○○○

こんかい かわさきいりょうたんきだいがくりょうほいく かしげまつし こうざ じゅうこう ようごがっこうきんむ へ げんざい がくせい きょういく  
今回、川崎医療短期大学医療保育科重松氏の講座を受講しました。養護学校勤務を経て、現在は学生の教育  
そうだん ちいき かたがた いっしょ じぶん くふう かんが つた たの せいかつ  
相談・アドバイスなどしながら、地域の方々と一緒に自分の工夫や考えを伝えていき、どうしたら楽しく生活が  
あつ やさ おも はなし  
できるか熱く優しい思いをわかりやすくお話させていただきました。

じへいしょう こ せいじん ととき しごと おし しどう あそ よか かん むすか  
自閉症の子どもたちが成人になった時に、仕事を教えたり指導はできるが、遊び（余暇）に関しては難しく、  
にゅうようじき ほんにん きょうみ す じょうほう し たいせつ じへいしょう  
乳幼児期に本人の興味や好きなものの情報を「大切」と知ることが「大切」ということでした。また、自閉症にとっ  
はじめのこと こと にながて たの ねちゅう さが じゅうよう  
て初めての事やイメージする事は苦手なので『楽しいだけでなく熱中できるものを探ること』がとても重要になり、  
なに たの かつどう じんせい ゆた せいかつ はっさん きかい じゅう じかん  
何より楽しい活動は人生を豊かにし、生活におけるストレス発散の機会となるそうです。しかし、自由な時間  
す しょう しゃ じつじょう しゃかいてき かか ひと かか にながて ひと かか  
をうまく過ごせていないのが障がい者の実情で、社会的な関わりや人との関わりが苦手、人との関わりを  
がんば げんざい せんちょうかん はいりょ ひつよう むすか かん  
頑張りなれないといけないという緊張感など配慮が必要になり、難しく感じてしまうのだということです。

ひび なか たの けいけん きょうみかんしん さく きも  
日々の中でどんなことが楽しいのか経験し、興味関心を探っていくことやあせらず“できる”という気持ち  
しゅうかん めば ちゅうもく ひ た たくさんも かつどう かつどう  
習慣の芽生えとして注目し、できることの引き出しを沢山持てるようにすること、ひとつひとつの活動ができる  
もくひょう き じゅうよう おし はなし き たいせつ  
よう目標を決めたりすることが重要だと教えていただきました。この話を聞いて、ゆうあいではとても大切な  
じどうき こ す かん  
児童期の子どもさんと過ごしているのだと感じました。

こんご こ いろいろな けいけん ができるように 配慮をし、好きなものを用意し見てわかる工夫をすることや、  
めいかく ねちゅう みる うれ たの きも きょうゆう  
スケジュールを明確にして熱中できることが見つけられるようにする、それにより嬉しい・楽しい気持ちを共有  
せいじん ととき たの じぶん よか じゅう じかん す つと おも  
し、成人になった時に楽しめる自分だけの余暇・自由な時間が過ごせるように努めたいと思います。

## パステルアートをしました～第2キッズ

かいぶけんしゅう まな りんしょうびじゅつ たいけん い しゅうだんかつどう  
スタッフが外部研修で学んできた臨床美術の体験を生かし、集団活動  
こ たいけん  
で子どもたちにも体験してもらいました。

ひ ごかん かん み さわ かお がようし おも  
この日はリンゴを五感で感じて（見る・触る・香る）から、画用紙に思いつくま  
まにクレヨンで色を塗り重ねていきました。最後にハサミでリンゴの形に切り取  
り、完成！それぞれの個性的なりんごが出来上がり、みんなで鑑賞を楽しみ  
かんせい こせいてき てきあ かんしょう たの  
ました。どれもあたたかみのある素敵な作品ばかりでした。



# おすすめ！ たのしい楽団！～たのしい楽団の初ライブがありました～

3月6日(日)にキッズゆうあいの子どもたちも多く参加している、障がいのある子どもたちによる楽団「たのしい楽団」の初ライブが、スティックビル交流ホールで開催されました。活動をはじめて2年間になりますが、はじめて一般の人にも見ていただく場となりました。子どもたちのいきいきとした演奏に、観客からは拍手喝采、かけがえない1日となりました。この日、神戸から先輩格の団体でたのしい楽団設立のきっかけとなった「音遊びの会」代表の沼田里衣さんもやってこられました。その沼田さんも、みんなの演奏を見てびっくり、そして絶賛「松江でまさか、こんなことになってたなんて！ほんとに素晴らしい！！」たのしい楽団の次年度の活動は、6月にスタートの予定です。キッズゆうあいの子どもさんと、ご関心のある方は、スタッフまでお声をかけてください。



## お知らせ

### ●キッズ通信等への写真の掲載について

キッズ通信には、第1から第3キッズの活動、イベントなどで子どもさんの顔の入った写真を掲載させていただいています。キッズゆうあいを利用されているご家庭へ配布させていただき、一般には公開していませんが、もし写真掲載を希望されない方がおられましたら、スタッフまでお声をかけてください。なお、キッズゆうあいのHPでもキッズ通信を紹介させていただいていますが、こちらでは顔写真にモザイクを入れて個人が特定されないようにしております。こちらにつきましても、ご意見がございましたら、ご一報お願いいたします。その一方で、キッズゆうあいのパンフレットや、HP内のブログ記事などで個人の顔の入った写真を掲載しても問題ないという方については、お知らせいただくと喜びます。

### ●個別支援計画について

現在、個別支援計画を半年に1回見直しさせていただいておりますが、来年度4月に見直しの対象となる方は、各事業所の児童発達管理責任者、担当スタッフより声をかけさせていただきます。計画の内容についてご相談させていただければと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### ●受給者証について

平成28年3月末でサービス受給者証の有効期間が終了となるご利用者さまが多くおられます。お手続きの上、新しい受給者証がお手元に届きましたら各事業所スタッフまでご提出いただきますよう、よろしくお願いいたします。



### ●来年度のご利用について

来年度進学・進級されるにあたり、下校時間に変更がなされたり、それに伴い利用される曜日が変更になることがあるかと思っております。4月からの利用の仕方が変更になられる方は、各事業所スタッフまでお知らせいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

発行：NPO 法人プロジェクトゆうあい／キッズスペースゆうあい

★キッズゆうあい通信のバックナンバーはHPからご覧になれます <http://pjui.com/day/>

■連絡可能時間帯：  
月～金 11:00～18:00  
(第1のみ～19:00)  
土(第2除く)8:30～18:00

第1キッズ：松江市北堀町 35-14 電話 0852-26-6345 (PHS)070-5523-2220  
第2キッズ：松江市北堀町 59-2 電話 0852-24-9979 (PHS)070-5671-3951  
第3キッズ：松江市西川津町 1408-7 電話 0852-24-0911 (PHS)070-5055-0852